

【表紙】

【提出書類】 訂正発行登録書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年11月7日

【会社名】 アルフレッサ ホールディングス株式会社

【英訳名】 Alfresa Holdings Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 荒川 隆治

【本店の所在の場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番3号

【電話番号】 03-5219-5100

【事務連絡者氏名】 代表取締役 副社長
社長補佐 総務・財務企画・コーポレートコミュニケーション・
コンプライアンス担当
岸田 誠一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番3号

【電話番号】 03-5219-5100

【事務連絡者氏名】 代表取締役 副社長
社長補佐 総務・財務企画・コーポレートコミュニケーション・
コンプライアンス担当
岸田 誠一

【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】 社債

【発行登録書の提出日】 2023年10月25日

【発行登録書の効力発生日】 2023年11月2日

【発行登録書の有効期限】 2025年11月1日

【発行登録番号】 5 - 関東1

【発行予定額又は発行残高の上限】 発行予定額 20,000百万円

【発行可能額】 20,000百万円
(20,000百万円)
(注) 発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額(下段()
書きは、発行価額の総額の合計額)に基づき算出しております。

【効力停止期間】 この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、2023年11
月7日(提出日)であります。

【提出理由】 2023年10月25日に提出した発行登録書の「第一部 証券情報」のうち、
「第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするためおよび「募集
又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、本訂正発行登録書
を提出いたします。

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

第一部 【証券情報】

第1 【募集要項】

1 【新規発行社債】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本発行登録の発行予定額のうち、金(未定)円を社債総額とするアルフレッサ ホールディングス株式会社第(未定)回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(ソーシャルボンド)(以下「本社債」という。)を、下記の概要にて募集する予定であります。

各社債の金額：金1億円

発行価格：各社債の金額100円につき金100円

2 【社債の引受け及び社債管理の委託】

(訂正前)

未定

(訂正後)

社債の引受け

本社債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しております。

| 引受人の氏名又は名称 | 住所 |
|-----------------------|-------------------|
| 大和証券株式会社 | 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 東京都千代田区大手町一丁目9番2号 |

3 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本社債の払込金額の総額(未定)円(発行諸費用の概算額は未定)

(2) 【手取金の使途】

(訂正前)

設備投資資金、投融資資金、借入金返済資金及び運転資金に充当する予定であります。

(訂正後)

設備投資資金、投融資資金、借入金返済資金及び運転資金に充当する予定であります。

本社債の手取金は、当社が策定したソーシャルボンド・フレームワークにおける適格プロジェクト(別記「募集又は売出しに関する特別記載事項」に記載いたします。)に係る新規投資に充当する予定であります。

「第一部 証券情報 第2 売出要項」の次に以下の内容を追加いたします。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<アルフレッサ ホールディングス株式会社第(未定)回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(ソーシャルボンド)に関する情報>

ソーシャルボンドとしての適合性について

当社は、本社債についてソーシャルボンドの発行のために、「ソーシャルボンド原則(Social Bond Principles)2023」(注1)および「ソーシャルボンドガイドライン2021年版」(注2)に即したソーシャルボンド・フレームワーク(以下「本フレームワーク」という。)を策定し、その適合性について、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)よりセカンドオピニオンを取得しております。

(注1)「ソーシャルボンド原則(Social Bond Principles)2023」とは、国際資本市場協会(ICMA)が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会(Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee)により策定されているソーシャルボンドの発行に係るガイドラインをいい、以下「ソーシャルボンド原則」といいます。

(注2)「ソーシャルボンドガイドライン2021年版」とは、ソーシャルボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がソーシャルボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、いわゆる先進国課題を多く抱える我が国の状況に即した具体的対応の例や解釈を示すことで、ソーシャルボンドを国内で普及させることを目的に、金融庁が2021年10月に策定・公表したガイドラインをいい、以下「ソーシャルボンドガイドライン」といいます。

ソーシャルボンド・フレームワークについて

本フレームワークは「ソーシャルボンド原則」および「ソーシャルボンドガイドライン」に則り、以下の4つの要素について定めています。

1. 調達資金の使途

本フレームワークに基づき調達された資金は、以下の適格プロジェクトに係る新規投資に充当します。

| 適格プロジェクト | 想定される社会的便益 | 事業カテゴリー (対象となる人々) | SDGs |
|-------------------------|---|---|------------------------------------|
| 茨城県つくば市における物流センターの建設・運営 | 災害時にも医療を止めないために以下のBCP(事業継続計画)対応機能を備えることにより、安定的な医薬品の供給に貢献する。 ・震度6強などの大きな地震の際も、建物への被害を軽微なレベルで抑える免震構造を建物全体に採用 ・72時間稼働が可能な大型非常用電源 ・給水・排水の遮断を想定した受水槽設備 | 必要不可欠なサービスへのアクセス (医薬品を必要とする被災者) | 3.すべての人に健康と福祉を 11.住み続けられるまちづくりを |
| 群馬県太田市における医薬品製造棟の建設・運営 | 以下の機能を備え、迅速かつ安定的に医薬品を生産することにより、医療の高度化によるアンメット・メディカルニーズの充足に貢献する。 ・ハザード物質の高度な封じ込め機能を備えた医薬品製造棟 ・カプセル、液剤、軟膏、顆粒等、多様な剤形に対応し、希少疾患に係る医薬品を中心とした低分子医薬品や高薬理活性物質の製造を受託できる設備 | 必要不可欠なサービスへのアクセス (アンメット・メディカルニーズに直面する患者) | 3.すべての人に健康と福祉を |

アルフレッサ ファーマ株式会社 群馬工場内に新棟を3棟建設

2. プロジェクトの評価および選定のプロセス

ソーシャルボンドの資金使途となる適格プロジェクトは、長期目標、中長期ビジョンに基づき、当社の財務企画部が関連する事業部門と協議を行い、財務・CSR管掌役員による最終決定を経て選定し、取締役会へ報告いたしました。なお、事業実施にあたっては、当社グループのコンプライアンスガイドラインに基づき、法令、社内外の諸規則および社会規範を遵守して行います。

3. 調達資金の管理

当社の財務企画部が、ソーシャルボンドによる調達資金の全額が、適格プロジェクトに充当されるよう追跡管理を行い、年度ごとに資金の充当状況を確認します。

ソーシャルボンドによる調達資金が適格プロジェクトに充当されるまでの間、調達資金は現金又は現金同等物として管理し、調達後2年程度の間には充当を完了する予定です。

4. レポートニング

資金充当レポートニング

ソーシャルボンドによる調達資金が適格プロジェクトに全額充当されるまでの間、年次で以下の内容を当社ウェブサイト上で開示予定です。

- ・各適格プロジェクトの概要(進捗状況を含む)
- ・充当額・未充当額、充当予定時期および未充当期間の運用方法

なお、調達資金の充当計画に大きな変更が生じる等の重要な事象が生じた場合は、適時に当社ウェブサイト上で開示します。

インパクトレポートニング

当社グループは、ソーシャルボンドによる調達資金が適格プロジェクトに全額充当されるまでの間、当社ウェブサイトにて以下の情報を、機密性および守秘義務の観点から開示可能な範囲において、少なくとも年次で公表します。

| 適格プロジェクト | アウトプット | アウトカム | インパクト |
|-------------------------|------------------|--|----------------------------|
| 茨城県つくば市における物流センターの建設・運営 | ・BCP(事業継続計画)対応機能 | ・物流センターからの医薬品供給対象となる医療機関数 ・想定される災害のリスクの低減 | ・平時・災害時を問わず、的確な医療へのアクセスを実現 |
| 群馬県太田市における医薬品製造棟の建設・運営 | ・医薬品製造棟の機能 | ・医薬品製造棟における生産量 | ・医療の高度化による健康寿命の延伸 |